

河鍋暁斎記念美術館（南町4-36-4 ☎441-9780）11～12月企画展示

企画展「狩野派 暁斎画塾 —臨写ヲ以初メ臨写ヲ以テ終ル—」展

同時開催 特別展

「Respect! 暁斎。-暁斎を敬愛する様々な作家による暁斎をテーマにした作品展-」

会期：2016年11月1日（火）～12月23日（金・祝） 休館日：12/24～1/3、毎週木曜

入館料：一般540円、中～大学生430円、小学生以下210円、団体要予約（20名以上）

先月に引き続き、暁斎が収集して学んだ狩野派の粉本（お手本）や、暁斎一門による下絵を中心に展示しております。12月は掛軸を入れ替え、暁斎の師・前村洞和筆「滝に虎図」や暁翠筆「能 石橋」をご覧ください。

また、第3展示室にて同時開催中の特別展「Respect! 暁斎。」も後期展示に入り、新しい作品が展示されました。

河鍋暁斎記念美術館のHPへはこちらから→
<http://kyosai-museum.jp/>



「滝に虎図」 前村洞和 紙本着色 軸装

暁斎が数え7歳で教わった狩野派最初の師である前村洞和と愛徳（なかのり）が描いた、水垢離（みずごり）をする虎の図です。飯島虚心著『河鍋暁斎翁伝』によると、前村洞和は子供の頃、父と引火奴（つけぎ）を売って歩いていましたが、画才を認められ、駿河台狩野家五代・狩野洞白愛信のもとで修業し、土佐藩江戸藩邸の御用絵師となりました。洞和は、暁斎の画才を愛して「画鬼」と呼んだといい、暁斎は晩年にその愛称を印にして用いました。天保12年（1841）に洞和が脳病にかかり、絵を教えることが出来なくなったため、暁斎は駿河台狩野家7代・狩野洞白陳信の元へ移ります。

第一中学校けやき学級（特別支援学級）

10月19・20日に、一中・二中合同宿泊学習が行なわれました。一日目は、バスでのレクリエーションを楽しみながら、長野県の清里ハイランドパークに向かいました。紅葉しはじめた山の景色を見ながら、昼食に豪華なビュッフェを堪能しました。昼食後は、限られたおこづかいの中で計算をしながら、それぞれおみやげを買いました。次に、「野辺山宇宙電波観測所」で見学し、とても大きなアンテナがあったり、小さいアンテナがたくさん並んでいたり、アンテナの仕組みを実際に体験できたりと、とても有意義な時間を過ごしました。隣接しているプラネタリウムでは、星座の勉強をしました。それから「信濃わらび山荘」に向かい、到着後に開会式を行ないました。お世話になる管理人さんには、一中からは手作りのカレンダーを、二中からは手作りの花束

をお渡しして喜んでいただきました。山荘では、家族の方に葉書を書いて送りました。美味しい夕飯をいただいた後は、反省会を行ないました。各班で出た良かった点や反省点を、班員全員が前に出てしっかりと発表することができました。二日目の朝に閉会式を行い、代表生徒4人がお礼の手紙を読みました。とても立派な発表姿でした。山荘を出発し、「道の駅・南きよさと」に向かいました。ゴンドラに乗り、山の上の澄んだ空気の中で、ピザ作りを体験しました。自分たちで野菜を切り、生地を伸ばし、工夫をしながら具材をのせ、窯で焼きました。とても美味しくでき、全員が大満足でした。二日間とも天気に恵まれ、たくさんのことを学び、体験することができました。合同宿泊ならではの交流もでき、仲も深まりました。